早口説（ハヤクドウチ）

本調子

尺〇工五工尺上四乙四尺上四〇四合

尺〇工五工尺上四乙四尺上四〇四合

四〇四乙四〇合〇乙四尺上四〇四合

さていむうちゆやうぐるまぬ

尺〇工五工尺上四乙四尺上四〇四合

みぐりみぐりていあらたまぬ

四

一、さても浮世（うちゆ）や
小車（うぐるま）の
巡（みぐ）り巡りて新玉の
年経（とぅした）ち替わて
春来れば松も千草も色そえて
梅も匂いて花を咲く
庭の青柳（あうやじ）糸たれて
山は霞て久方の空も長閑に
照る月も

二、光輝く四方（よも）の海
波も静かに吹く風も
枝をならさん此の御代に
山にかくれて住む人も
君に仕えん時を得て
花の都に皆出でて
山の奥には住家なし